

平成26年度優秀映画鑑賞推進事業

2015年2月21日(土) 12:00開場

① 12:30 ~ 「**風の中の子供**」(86分)

原作/坪田譲治 監督/清水宏  
出演/河村黎吉、吉川満子、坂本武、岡村文子、笠智衆 ほか

② 14:15 ~ 「**あすなろ物語**」(108分)

原作/井上靖 監督/堀川弘通  
出演/久保明、岡田茉莉子、根岸明美、木村功、金子信雄 ほか



主人公の成長をとおして  
児童文学の傑作を一挙上映!  
今、子供に伝えたい

2015年2月22日(日) 12:00開場

① 12:30 ~ 「**次郎物語**」(110分)

原作/下村湖人 監督/森川時久  
出演/加藤剛、高橋恵子、伊勢将人、樋口剛嗣、泉ピン子、永島敏行 ほか

② 14:40 ~ 「**風の又三郎 ガラスのmant**」(107分)

原作/宮沢賢治 監督/伊藤俊也  
出演/早勢美里、小林悠、草刈正雄、樹木希林、檀ふみ、岸部一徳 ほか



所沢市民文化センター ミューズ マーキーホール

料金/全席自由(一日通し券) 前売700円 当日 800円

チケット取扱/ミューズチケットカウンター 04-2998-7777

チケットぴあ 0570-02-9999 ローソンチケット 0570-000-407

電話:10時~18時  
窓口:10時~19時

チケット  
発売中

主催/(公財)所沢市文化振興事業団 文化庁 東京国立近代美術館フィルムセンター  
協賛/松竹ブロードキャスティング株

問合せ/所沢市民文化センター ミューズ 〒359-0042 埼玉県所沢市並木一丁目9番地の1

TEL.04-2998-6500 <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

\*未就学児のご入場はご遠慮ください。\*上映作品は、年代を経ていることにより画像・音声等に劣化が生じている可能性があります。予めご了承ください。

M

U

S

E

名

画

シ

ア

タ

ー





# 上映作品紹介



## 2月21日(土) 12:30~『風の中の子供』 監督/清水宏

1937年・松竹(大船)・白黒スタンダード・86分

児童文学作家・坪田譲治の同名小説を、清水宏監督が原作に忠実に映画化。小学5年生の善太・小学1年生の三平兄弟は、楽しく夏休みを過ごしていたが、ある日父親が逮捕されてしまい、二人の生活は激変する。兄弟の日常を生き生きとつづった人間ドラマ。子役たちと共同生活をしながら撮影に備えた清水監督は、天然の野生ともいえる子供の存在を見事にカメラに収め、本作により児童映画の第一人者としての地位を築いた。翌年のヴェネチア国際映画祭では、ヨーロッパの批評家たちからも絶賛された。なお、坪田による善太・三平の物語は、同じ清水監督によって『子供の四季』(1939)が作られるとともに、戦後も山本嘉次郎監督らによって映画化されている。



## 2月21日(土) 14:15~『あすなろ物語』 監督/堀川弘通

1955年・東宝・白黒スタンダード・108分

井上靖の自伝的小説を映画化。長年黒澤明の助監督をつとめ、『裸の大将』(1958)や『黒い画集 あるサラリーマンの証言』(1960)など秀作を発表した堀川弘通が初監督するのを記念して、黒澤が脚本を手掛けた。堀川監督の叙情性だけでなく、黒澤の資質をうかがえる点でも貴重な作品である。原作にある小学生と中学生時代のエピソードをそのままに、新たに高校生時代が加えられ、三話によるオムニバス構成になっている。一人の少年が、複雑な人間関係の中で次第に成長していく様子を、「明日は桜(ひのき)になろう」と頑張っている“あすなろう”という、大きな木に重ね合わせて描かれている。



## 2月22日(日) 12:30~『次郎物語』 監督/森川時久

1987年・西友=学習研究社=キネマ東京・カラーピスタ・110分

理想主義と自由主義を貫いた教育者、小説家として知られる下村湖人の自伝的教養小説を映画化。名作として名高く、1941年に島耕二監督、1955年に清水宏監督によって、2度映画化されている。生後すぐに里子に出された次郎は、里親のお浜を慕い両親の住む家にもどっても家族になじめず、衝突をくり返す。旧家の格式を重んじる祖母は冷たくあたるが、父や祖父、母・お民の実家の人々に見守られながら成長していく。森川監督は、当時の社会的な背景を押さえながら丁寧に描き直し、叙情的感銘を導きだしている。次郎が成長していく故郷、その田園風景の美しさと母を演じた高橋恵子の演技が印象的である。



## 2月22日(日) 14:40~『風の又三郎 ガラスのmant』 監督/伊藤俊也

1989年・朝日新聞社=東急エージェンシー=日本 Herald 映画  
カラーピスタ・107分

宮沢賢治の同名原作は、1940年に島耕二監督の手で映画化され、その年度の「キネマ旬報」ベストテンの第3位にランクされた名作である。伊藤俊也監督のこの作品は、そのリメイクではあるが、随所に新しい創作がなされており、見事に平成版の『又三郎』となっている。母と二人暮らしの少女、かりんの前にあらわれた高田三郎は、二百十日の風の日に転校してきたために「風の又三郎」と呼ばれる。実際、彼が来てからは不思議なことの連続だった。冒頭のカメラの大胆な動きは、観客を一気にファンタジーの世界へと誘い込む魅力に満ちており、独自の視点で物語性に富んだ映像世界をつくりあげる伊藤監督の本領が発揮されている。

チケットのお求めは

ミュージックチケットカウンター **04-2998-7777**

チケットぴあ **0570-02-9999** <http://t.pia.jp/>

ローソンチケット **0570-000-407** <http://l-tike.com/>

チケット  
発売中

■主催：(公財)所沢市文化振興事業団/文化庁  
東京国立近代美術館フィルムセンター

■協賛：松竹ブロードキャスティング(株)

お問合せ先

所沢市民文化センター ミューズ  
〒359-0042 所沢市並木1-9-1 TEL.04-2998-6500  
<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

所沢ミュージック 検索

\*未就学児のご入場はご遠慮ください。

\*上映作品は、年代を経ていることにより画像・音声等に劣化が生じている場合がございます。予めご了承ください。

\*駐車場は大変混雑しますので、公共の交通機関をご利用ください。